

ワクチン接種加速と「五輪に観客」

写真は朝日 10 日朝刊「オピニオン 五輪はどこへ」。東京五輪は観客を入れて開催したい。だが、それを実現するための条件は示さない。これが、いまの菅義偉首相の姿勢にみえる。

9 日朝刊も、「五輪に観客」強気の政府、一時は「無観客」…ワクチン接種加速で勢いと報じる。どう考えても納得できない事態だ。抜粋して紹介する。

五輪の開会式まで 2 カ月を切り、政府や大会関係者からは有観客を前提にしたような発言が相次ぐ。大会組織委員会の橋本聖子会長は 8 日の理事会で、観客のあり方について「6 月中に方針を公表する」と説明。コロナ禍のもと有観客の試合を重ねる J リーグを参考にする考えを示した。菅義偉首相も 5 月 28 日の記者会見で、プロ野球などを例に「感染拡大防止措置をした上でやっていることも事実だ。そうした中で対応することはできる」と、有観客に意欲をみせた。



コロナ禍を懸念する世論をよそに、菅政権は五輪実現に突き進む。観客数についても、最近「観客ゼロでは選手は力が出ない。無観客はない」（官邸幹部）などと、有観客を前提にした議論が交わされている。

わずか 1 カ月ほど前には、政権内にも「無観客」を受け入れざるを得ないとの空気があった。橋本氏は 4 月 28 日、「無観客の覚悟は持っている」と発言。その 3 日前の 25 日には東京などに緊急事態宣言が出され、官邸幹部も「『これだけ我慢して生活しているのに五輪かよ』、という気持ちが国民に広がっている」と、五輪への逆風を前に弱音を漏らしていた。

だが、4 月下旬からの緊急事態宣言で感染状況が改善に向かい、ワクチン接種も本格化。五輪の準備に向けても、「職域接種が始まれば、五輪に前向きな雰囲気をもっと出る」と強気の言葉が飛び交う。政府は東京都など 10 都道府県に出している緊急事態宣言の期限となる 20 日前後に、観客のあり方についても判断する構え。今のところ、緊急事態宣言下での「収容人数の 50% を上限に最大 5 千人」とのイベント制限に準じた形での開催などが検討されている。大会関係者には「1 万人」との強気の声も。ある官邸幹部は「有観客を前提にどこまで入れられるか」と話す。

一方、専門家からは前のめりな政権に釘を刺すような指摘が出る。観客を入れれば人の流れが増え、感染拡大のリスクが高まることは避けられないとみるからだ。政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の尾身茂会長は 2 日の衆院厚生労働委員会で、「主催者の責任として、開催の規模をできるだけ小さくして管理の態勢をできるだけ強化するのが義務だ」と訴えた。

(2021 年 6 月 12 日)